

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和4年5月10日

事業所名：放課後デイサービスみんなのえがお

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に対し、十分に確保できている。	はい・・・10 どちらともいえない・・・1	今後も確保できるように整理整頓しておく。
	2 職員の適切な配置	現在、一人不足しているが、すぐに充足する予定。	はい・・・9 どちらともいえない・・・2	不測の事態が起こっても大丈夫なように、職員の配置を基準以上にしておく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	建物の構造上、外側の階段などは厳しいが、現状は困っていない。	はい・・・6 どちらともいえない・・・5	現状を維持していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	そのような生活空間を確保できるように心がけている。		今後も実施していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	メール等で目標を設定し、職員の声も取り入れ意見交換している。		今後も実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていない。		要望があれば、第三者の評価を検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要な研修に参加するように努力しているが、現在はなかなか達成できていない。		今後も実施していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	できている。	放課後デイサービス計画が作成されている・・・11	今後も実施していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童個人個人に合わせた計画書の作成ができている。		今後も実施していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	できている。		今後も実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書作成後、職員全員が目を通し、支援内容を共有できるようにしている。支援内容については日頃から意見交換し情報交換できている。		今後も実施していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムについては、職員間で意見を出し合い役割分担しながら実施するよう心掛けている。		今後も実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に応じた支援ができるよう、その都度職員間で話し合う機会を得ている。	活動プログラムが固定化されないように工夫されている・・・7 どちらともいえない・・・4	今後も実施していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別性を大事にした活動プログラムを実施しているので、多少固定化される時もあるが、季節の行事等を取り入れながら固定化しないようプログラムの検討を実施している。		今後も実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援内容や役割分担についての確認の徹底を心がけている。そのうえで現場での指示や報連相など、適時対応できるようにしている。		今後も実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	情報を出し合い、共有できている。		今後も実施していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	できている。		今後も実施していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	できている。		今後も実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	管理者や児発管が連絡調整を行ない、必要時に参加している。		今後も実施していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校や保護者との間で十分な情報共有をしている。		今後も積極的に情報共有を行なっていく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在学校を卒業する利用者はいないが、他の事業所への移行時に十分な情報提供ができています。		今後も他事業所に移行する利用者がある場合は相談支援事業所や他事業所と連携していく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	できるように努力しているが、現在は専門機関での研修は受講できていない。		今後、オンライン研修などで研修の参加機会を増やしていく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	できていない。	どちらもいえない・・・5 できていない・・・6	今はコロナ禍で難しいが、このような機会があれば良いと思うので、今後視野に入れていきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	できていない。	どちらもいえない・・・5 できていない・・・6	今後コロナ禍が落ち着けば、地域住民の方たちにも参加して頂けるような行事も検討していきたい。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	運営の規定、支援の内容、利用者負担については書面にして記載したうえで口頭でも説明を行なっている。	できている・・・11	今後も実施していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	サービス開始時、モニタリング後の計画書作成時に、計画書を示しながら支援内容について説明を行なっている。	できている・・・11	今後も実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングはできていないが、保護者との連携は日々取っている。	今後も実施していく。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日頃、連絡帳への記載や送迎時の対面、電話などで児童についての共通理解を得られるよう心がけている。	できている・・・11	今後も実施していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの悩み等の相談や職員からも、児童に対する適切な対応等、共通理解をし、人うような助言もできるよう心がけている。	できている・・・11	今後も実施していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染対策の視点から、保護者会の開催は行っていない現状。	どちらともいえない・・・2 できていない・・・9	感染症が収まれば実施する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情はまだないが、あった場合に迅速かつ適切に対応する。	できている・・・8 どちらともいえない・・・3	今後も実施していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	できるだけ意思疎通や情報伝達しやすいように言葉や表現に気を付けている。	できている・・・10 どちらともいえない・・・	今後も実施していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報はないが、ホームページや連絡帳、送迎時の対面などでお伝えしている。	できている・・・2 どちらともいえない・・・7 できていない・・・2	連絡帳でほぼ足りているが、もっと保護者に伝える方法を考える。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については、保管場所に気を付けている。	できている・・・10 どちらともいえない・・・	今後も実施していく。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者までは周知できていない。	できている・・・4 どちらともいえない・・・5 できていない・・・2	今後は保護者に対する周知をしていき、マニュアルも開示していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	シミュレーションはできている。避難訓練もできている。	できている・・・4 どちらともいえない・・・7	今後も実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人内の研修では定期的に虐待防止の研修を行なっている。		今後も実施していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行なう必要性がなく、事例もない。		今後、拘束が必要となる事案が発生した場合は、関係機関との連携を取り、適切に行う。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者との面談の際には必ず確認を取っている。現在その事例はない。		今後も実施していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集などは作成できていない。		スタッフ間での情報共有はできているので、それをもとに事例集も作成するように努める。